

## 学修成果の把握に関する方針（アセスメント・ポリシー）

奈良大学では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で示した学生の学修成果を把握し評価するため、下記の方針を定める。

### 1. 評価（アセスメント）の基準

本学における学修成果は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で示した下記の6つの能力が身についているかどうかを基準として評価する。

- ① 知識・技能の理解と活用
- ② 問題発見・解決力
- ③ 多様性の理解
- ④ コミュニケーション能力
- ⑤ 自律的で意欲的な態度
- ⑥ 倫理観・規範性

### 2. 評価（アセスメント）の方法

評価（アセスメント）は、下の表にあるような手段を使って行なう。

区分	入学前	在学中	卒業時
機関レベル (大学全体)	・入学試験 ・新入生アンケート	・授業評価アンケート ・学修成果に関するアンケート (e-learning) ・学生との意見交換会	・学位授与数 ・卒業生アンケート
教育課程レベル (各学部・学科)	・入学試験 ・調査書・推薦書	・GPAの分布状況 ・授業評価アンケート ・学修成果に関するアンケート (e-learning)	・GPAの分布状況 ・卒業生アンケート
科目レベル	・入学試験	・成績評価 ・授業評価アンケート	—

### 成績評価基準について

各科目の成績評価については以下の基準により評価する。

また、本学はグレードポイントアベレージ(GPA Grade Point Average)制度を導入している。各授業科目ごとに付与したGPから1単位あたりの平均値(GPA)を算出し、総合的な学修成果を示す。

評価		評点	GP	評価基準
合格	S	90点以上	4	当該科目の履修において、所期の目標をほとんど完全にもしくはそれを超えて達成し、特段に優れた成績を修めたもの

	A	89点～80点	3	当該科目の履修において、所期の目標を達成しているもの
	B	79点～70点	2	当該科目の履修において、不十分な点はあるものの、所期の目標を達成しているもの
	C	69点～60点	1	当該科目の履修において、不十分な点は多いものの、最低限の目標に達しているもの
不合格	D	59点以下	0	当該科目の履修において、目標を達成していないもの

## GPAについて

奈良大学は GPA（グレードポイントアベレージ）も活用し、学修成果の把握を行っている。学生の学修の取組の確認に活用するとともに、履修指導の対象者の把握や奨学金選考基準等に活用している、

また、意欲ある学生の学修機会を拡大するため、年度末卒業要件 GPA が所定以上の者については翌年度の年間履修登録単位数の制限を緩和する（2019年度以降入学生より）。

なお、算出方法は次のとおりである。

GPA は当該学期に履修した対象科目について、学期 GPA 及び通算 GPA に区分し、各区分の定める方法により計算するものとする。計算値は、小数点以下第 3 位を四捨五入して表記するものとする。

1) 学期 GPA は、当該学期の授業科目ごとに得た GP に当該授業科目の単位数を乗じ、その合計を当該学期に成績評価を受けた授業科目単位数の合計で除して算出する。

2) 通算 GPA は、入学時から現在の学期までの授業科目ごとに得た GP に当該授業科目の単位数を乗じ、その合計を入学時から現在の学期までに成績評価を受けた授業科目単位数の合計で除して算出する。

### GPA(Grade Point Average)の算出方法

$$\frac{(\text{修得した各科目の単位} \times \text{Grade Point})\text{の総和}}{\text{成績評価を受けた科目の総単位数}}$$

通算 GPA 及び学期 GPA は、それぞれ対象となる全科目と卒業要件対象科目とに分けて 算出する。

一度履修登録した科目であっても、履修目的を達成する見込がない等の理由で、履修登録を取り消すことができる。ただし、取消に伴う追加登録はできない。

履修登録の取消は、指定された取消期間中にのみ行うことができる。この期間に手続きを行わなかった場合は、当初申請した履修科目が成績評価の対象となる。